

重粒子の磁気モーメントの期待値計算について

2023 年 5 月 16 日

定理 0.1 (トリプレット状態におけるスピン演算子の考察)

陽子と中性子のスピン演算子を \vec{s}_p, \vec{s}_n とする。重陽子はトリプレットなので、

$$|S\rangle = |u\rangle|u\rangle, \quad \frac{1}{2}(|u\rangle|d\rangle + |d\rangle|u\rangle), \quad |d\rangle|d\rangle \quad (0.1)$$

に対して $\langle S|\vec{s}_p - \vec{s}_n|S\rangle = 0$ が成立する。

証明の方針

昇降演算子を用いて

$$s_{px} = \frac{1}{2}(s_{p+} + s_{p-}), \quad s_{py} = \frac{1}{2i}(s_{p+} - s_{p-}) \quad (0.2)$$

としてから全ての状態に対して計算すると、 $\langle S|\vec{s}_p - \vec{s}_n|S\rangle = 0$ が言える。

1 定理の拡張

ここでは、上の定理の一般化を行う。粒子 X_i の Hilbert 空間を \mathcal{H}_i 、粒子 X_j の Hilbert 空間を \mathcal{H}_j とする。また、2つの Hilbert 空間は同じ構造を持っていると仮定する。以降、 $\mathcal{H}_i, \mathcal{H}_j$ を $\mathcal{H}_{\text{single}}$ と書く。(例：陽子と中性子は異なる粒子だが、それらのスピンの持つ Hilbert 空間は同じである。)

2 個の粒子 X_i, X_j が作る Hilbert 空間 $\mathcal{H} = \mathcal{H}_i \otimes \mathcal{H}_j$ において、粒子 X_i と粒子 X_j の状態の入れ替えに対する考察を行う。Hilbert 空間 \mathcal{H} 上のエルミート演算子の集合を $\mathcal{O}(\mathcal{H})$ とし、 $\hat{A} \in \mathcal{O}(\mathcal{H})$ は物理的な観測量を表す演算子とする。

定理 1.1

物理量 A に対応する粒子 X_i と X_j の演算子を $\hat{A}_i \in \mathcal{O}(\mathcal{H}_{\text{single}}), \hat{A}_j \in \mathcal{O}(\mathcal{H}_{\text{single}})$ とする。このとき、 $|\Psi_s\rangle \in \mathcal{H}$ が物理量 A に対する粒子 X_i, X_j の状態の入れ替えに対して対称化されている場合、

$$\langle \Psi_s | \hat{A}_i - \hat{A}_j | \Psi_s \rangle = 0 \quad (1.1)$$

が成立する。

証明

2 粒子の状態の入れ替えを行う演算子を \hat{P} とする。 $|\Psi\rangle \in \mathcal{H}$ に対して、

$$\hat{P}|\Psi\rangle = \pm|\Psi\rangle, \hat{P}^2 = \text{id (恒等演算子)} \quad (1.2)$$

となるため、 \hat{P} はユニタリ演算子である。また、定義より

$$\hat{P}|\Psi_s\rangle = |\Psi_s\rangle \quad (1.3)$$

が成立する。次に、反交換関係 $\{\hat{P}, \hat{A}_i - \hat{A}_j\} = 0$ が成立することを示す。まず、

$$|A_\alpha\rangle_i, \quad (\alpha = 1, 2, \dots, N) \quad (1.4)$$

を \hat{A}_i の固有状態とする。これらは完全系を成していると仮定し、 \hat{A}_j の固有状態についても同様に定める。すなわち、任意の $|\Psi\rangle \in \mathcal{H}$ は

$$|\Psi\rangle = \sum_{\alpha=1}^N \sum_{\beta=1}^N C_{\alpha,\beta} |A_\alpha\rangle_i |A_\beta\rangle_j \quad (1.5)$$

と展開できる。したがって、

$$\begin{aligned} \hat{P}(\hat{A}_i - \hat{A}_j)|\Psi\rangle &= \hat{P}(\hat{A}_i - \hat{A}_j) \sum_{\alpha=1}^N \sum_{\beta=1}^N C_{\alpha,\beta} |A_\alpha\rangle_i |A_\beta\rangle_j = \sum_{\alpha,\beta} (A_\alpha - A_\beta) \hat{P} C_{\alpha,\beta} |A_\alpha\rangle_i |A_\beta\rangle_j \\ &= \sum_{\alpha,\beta} (A_\alpha - A_\beta) C_{\alpha,\beta} |A_\beta\rangle_i |A_\alpha\rangle_j \end{aligned} \quad (1.6)$$

となる。また、

$$\begin{aligned} (\hat{A}_i - \hat{A}_j)\hat{P}|\Psi\rangle &= (\hat{A}_i - \hat{A}_j) \sum_{\alpha=1}^N \sum_{\beta=1}^N \hat{P} C_{\alpha,\beta} |A_\alpha\rangle_i |A_\beta\rangle_j = (\hat{A}_i - \hat{A}_j) \sum_{\alpha,\beta} C_{\alpha,\beta} |A_\beta\rangle_i |A_\alpha\rangle_j \\ &= \sum_{\alpha,\beta} (A_\beta - A_\alpha) C_{\alpha,\beta} |A_\beta\rangle_i |A_\alpha\rangle_j \end{aligned} \quad (1.7)$$

となるため、反交換関係 $\{\hat{P}, \hat{A}_i - \hat{A}_j\} = 0$ が成立する。以上より、

$$\langle\Psi_s|\hat{A}_i - \hat{A}_j|\Psi_s\rangle = \langle\Psi_s|\hat{P}^\dagger \hat{P}(\hat{A}_i - \hat{A}_j)\hat{P}^\dagger \hat{P}|\Psi_s\rangle = -\langle\Psi_s|\hat{A}_i - \hat{A}_j|\Psi_s\rangle = 0 \quad (1.8)$$

を得る。